■第9回国際母子栄養改善議員連盟

■2020年3月4日開催（衆議院議員会館　地下1階　第1会議室）

■参加者

国会議員、外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）、厚生労働省、農林水産省、財務省、内閣官房（陪審）、国際機関、企業、非政府組織NGO等

■内容

2020年12月に開催予定の東京栄養サミット2020に向けた準備の進捗はどのようになっているのだろうか。今回の会合で、外務省は栄養サミットで議論すべき5つのテーマ①健康：栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）への統合　②食：健康的で持続可能なフード・システムの構築　③強靭性：脆弱な状況下における栄養不良対策　④説明責任：データに基づくモニタリング　⑤財政：栄養改善のための財源確保―を示した。厚生労働省は、栄養サミットにおいてテクニカルセッションを担当する事によりこれまでの日本の栄養政策に関する知見経験を世界と共有すると発表した。議員連盟は「東京栄養サミット2020に向けた提言書」を採択し、その中で、日本政府からの資金コミットメントの表明、戦略策定と連携体制の強化、モニタリングとレポーティングの改善の3点を提言した。